注3

大学番号:私199

[平成29年度設置]

計画の区分: 学部の設置

注1

認可

# 鈴鹿大学 こども教育学部 こども教育学科 注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

# 学校法人享栄学園 平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 大学・短期大学部事務局

 戦名・氏名
 ジムキョクチョウ
 ツツミ ヒテノリ

 職名・氏名
 事務局長
 堤
 秀紀

電話番号 059-372-2121

(夜間) 059-372-2121

F A X 059-372-2827

e — mail tutumih@kyoeigakuen.net

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
  - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

- ( ) 書きにて、現在の名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

大学新設の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」

• 短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合:「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

• 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出 について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

# こども教育学部

<c< th=""><th>ことも教育学科&gt;</th><th>^^−</th><th>·ジ</th></c<>	ことも教育学科>	^^−	·ジ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	1
2.	授業科目の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	7
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	17
4.	AC対象学部等を含む大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	18
5.	教員組織の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• :	21
6.	留意事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• ;	30
7	その他全船的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	3 2

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

学校法人享栄学園

- (2) 大 学 名 鈴鹿**大**学
- (3) 大学の位置

〒510−0298

三重県鈴鹿市郡山町字西高山663番222

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
  - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

# (4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
理事長	(カキオ カズヒコ) <b>垣尾 和彦</b> (平成25年4月)		
学長	( イチノ ショウジ ) <b>市野 聖治</b> (平成26年4月)		
学部長	(カワマタ トシノリ) <b>川又 俊則</b> (平成29年4月)		
学科長等			

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ( )書きで記入してください。
  - (例) 平成29年度に報告済の内容 → (29) 平成30年度に報告する内容 → (30)
  - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

### (5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
  - ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表 を追加してください。
  - <u>を追加してください。</u>
    ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが、開設年度・ 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合 には、欄を設けてください。)

# (5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	1
		年	Y	年次	人	
こども教育学部				人		
こども教育学科	教育学・保育	4	80	10	340	
幼児教育学専攻	学関係	4	40	5	170	
養護教育学専攻		4	40	5	170	
学士 (教育学)						

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
  - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
  - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

# (5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

_	1.8	_	#4	*	224 24
_	ے ۔	t١	鯬	目	学科

		平成2	2 7	年度	平成2	8年度	平成2	9年度	平成3	0 年度	亚4.1 类点是		
区	分	春季入学	. ÷σ	の他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	平均入学定員 超 過 率	備	考
	<u>"                                    </u>	_ ,,,,			_ ,,,,		_ ,,,,		_ ,,,,				
		人		人	人	人	ᄾ	, 人	ᄉ	、 人			
Α	入学定員	,		\	,	\	, 8	0 ,	/ 0	30			
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	_ (		,	(	)		_ /	_ ( -	_ /			
		L L		J	L		_	0 ]		0 ]			
							21	_	31	_			
	志願者数	( )	(	)	( )	( )	(-)	(-)	(-)	(-)			
		[ ]	[	]	[ ]	[ ]	[-]	[-]	[-]	[-]			
							21	_	30	_			
	受験者数	( )	(	)	( )	( )	(-)	(-)	(-)	(-)			
			[	]	[ ]	[ ]	[-]	[-]	[-]	[-]	0. 27倍		
							21	_	30	_			
	合格者数	( )	(	)	( )	( )	(-)	(-)	(-)	(-)			
		lr 1	lΓ	1	Г	Г٦	li — i	l i — i	r — i	$\begin{bmatrix} 1 \\ 1 \end{bmatrix}$			
		-	1				20		24				
В	入学者数	( )	(	)	( )	( )	( - )	( - )	( - )	( - )			
l	7, 1, 1, 2,	lì i	lτ	í	lì i	lì í	l	l	` _ i	[			
7	学定員超過率		Į L	J	L J	1		lr ]	L J				
	于足其起過年 B/A						0.	25	0.	. 3			
	D/ A												

# こども教育学科 幼児教育学専攻

対象年度	平成2	7 年度	平成2	8 年度	平成29年度	平成30年度	平均入学定員	備考
区分	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	超 過 率	N⊞ √⊃
	人	人	7	Y	人 40	人 人		
A 入学定員	( [	)	( [	)	( <del>-</del> ) [ 0 ]	( - )		
志願者数	( )	( )	( )	( )	8 – ( – ) ( – )	15 — ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]		
受験者数	( )	( )	( )	( )	( - ) ( - ) [ - ] [ - ]	14 — ( — ) ( — ) [ — ]	0. 25倍	
合格者数	( )	( )	( )	( )	8 — ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	14 — ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]		
B 入学者数	( )	( )	( )	( )	8 — ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	12 — ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]		
入学定員超過率 B/A					0. 2	0.3		

こども教育学科 養護教育学専攻

CCUXATA	2012	日丁寸り	•					
対象年	变 平成2	27年度	平成2	8年度	平成29年度	平成30年度	平均入学定員	備考
区分	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	超 過 率	기계 건
	7	. J		人	人 40	人 40		
A 入学定員	(	)	(	)	( <del>-</del> ) [ 0 ]	( <del>-</del> ) [ 0 ]		
志願者数	( )	( )	( )	( )	13 — ( — ) ( — )	16 — (— ) (— ) (— )		
	1 ,	1	L J		13 –	16 –		
受験者数	( )	( )	( )	( ) [ ]	(-) $(-)$	(-) $(-)$	0. 3倍	
	<u> </u>				13 –	16 –		
合格者数	( )	( )	( )	( ) [ ]	(-)(-)	(-)(-)		
B 入学者数	[ ]	( )	( )	( )	12 — ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	12 - (-)(-) [-][-]		
入学定員超過率 B/A	3	_			0.3	0.3		

- (注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ ( )内には、編入学の状況について<u>外数で</u>記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「一」を記入してください。
  - ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - 転入学生は記入しないでください。
  - · 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。 ください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- (5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

こども教育学科

対象年度	平成2	7 年度	平成2	8 年度	平成2	9 年度	平成3	0年度	備	考
学年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	VĦ	75
					20	_	24	_		
1 年次	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
	( )	( )	( )	( )	( - )	( - )	( - )	( - )		
					_	_	18	_		
2年次	/		[ ]	[ ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
			( )	( )	( - )	( - )	( - )	( - )		
					_	_	_	_		
3 年次	/				[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
					( - )	( - )	( - )	( - )		
							_	_		
4 年次	/						[ - ]	[ - ]		
							( - )	( - )		
					2	0	4	.2		
計	[	]	[	]	[ -	- ]	[ -	- ]		
	(	)	(	)	( -	- )	( -	- )		

#### こども教育学科 幼児教育学専攻

<u>ことも叙目子科</u>	· 401710-35X	月子导以								
対象年	度 平成2	27年度	平成2	8 年度	平成2	9 年度	平成 3	0 年度	備	考
学年	春季入学	を その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	VĦ	77
					8	_	12	_		
1 年次	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
	( )	( )	( )	( )	( - )	( - )	( - )	( - )		
					_	_	7	_		
2 年次	/		[ ]	[ ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
			( )	( )	( - )	( - )	( - )	( - )		
					_	_	_	_		
3年次	/				[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
					( - )	( - )	( - )	( - )		
							_	_		
4 年次	/						[ - ]	[ - ]		
						_	( - )	( - )		
		_	_	_		8	1	9		
計		]	[	]	[ -	- ]	[ -	- ]		
	(	)	(	)	( -	- )	( -	- )		

こども教育学科 養護教育学専攻

	とも教育字科	食喪祭	了字界攻								
	対象年度	平成2	7 年度	平成2	8 年度	平成 2	9 年度	平成 3	O年度	備	考
学	年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	VĦ	73
						12	_	12	_		
	1 年次	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
		( )	( )	( )	( )	( - )	( - )	( - )	( - )		
						_	_	11	_		
	2 年次			[ ]	[ ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
				( )	( )	( - )	( - )	( - )	( - )		
						_	_	_	_		
	3年次					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
		_				( - )	( - )	( - )	( - )		
								_	_		
	4 年次							[ - ]	[ - ]		
							0	( - )	( - )		
ĺ	=1	r	,	-	,	1	2	_	.3		
	計	[	,	L	]	[ -	- ]	[ -	- ]		
		(	)	(	)	( -	<b>–</b> )	( -	<b>–</b> )		

- (注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「一」を記入して ください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
  - ・( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。

# (5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

こども教育学科

ことも叙目子作	7																																			
区分	大学老粉(L)	<b>旧学李粉</b> (-)		内訳		ナた旧曲油中																														
対象年度	仕子有奴(b)	退学者数(a)	入学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数	主な退学理由																														
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人																															
亚芹00年度			平成27年度	人	人																															
平成28年度	人	人	平成28年度	人	人																															
			平成27年度	人	人																															
平成29年度	20 人	2 人	平成28年度	人	人																															
			平成29年度	2 人	人	進路変更、経済的理由																														
			平成27年度	人	人																															
平成30年度	04 1	0 1	平成28年度	人	人																															
十成30年度	24 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人																															
合 計	44 人	2 人																																		

こども教育学科 幼児教育学専攻

<u>ことも叙有子作</u>		于守权				
区分	在学去数(b)	退学者数(a)		内訳	_	主な退学理由
対象年度	在于省 <b>奴</b> (0)	应于11 数 (a)	入学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数	上な歴于任田
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	1	,	平成27年度	人	人	
十八20千皮	λ	^	平成28年度	人	人	
			平成27年度	人	人	
平成29年度	8 人	1 人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	1 人	人	進路変更
			平成27年度	人	人	
平成30年度	12 人	0 人	平成28年度	人	人	
十成30年度	12 人	0 7	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
合 計	20 人	1 人				

こども教育学科 養護教育学専攻

ことの教育子作		1 11 //				
区分	在学者数(b)	退学者数(a)		内訳		主な退学理由
対象年度	<b>江丁日奴(</b> 0)	应于"自奴(d)	入学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数	上な歴予任田
平成27年度	人	人	平成27年度	人	Т	
平成28年度	1	,	平成27年度	人	Д	
十灰20千皮	, A	^	平成28年度	人	Д	
			平成27年度	人	人	
平成29年度	12 人	1 人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	1 人	人	経済的理由
			平成27年度	人	人	
平成30年度	12 人	0 人	平成28年度	人	人	
十成30年度	12 人	0 7	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
合 計	24 人	1 人				

- (注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。<u>(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)</u>
  - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、<u>退学者数の内数</u>を記入してください。
  - ・ 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」) により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための 準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
  - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他
- (5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

#### 【平成27年度】 平成27年度の退学者数(a) 平成27年度の在学者数(b) 0 \_\_\_ = \_\_ #DIV/0! 【平成28年度】 平成28年度の退学者数(a) 0 #DIV/0! % 平成28年度の在学者数(b) 【平成29年度】 平成29年度の退学者数(a) \_ = \_ 10 % 平成29年度の在学者数(b) 【平成30年度】 平成30年度の退学者数(a) - = -% 平成30年度の在学者数(b)

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

# 2 授業科目の概要

くこども教育学部 こども教育学科 幼児教育学専攻>

# (1)一① 授業科目表

# 【認可時又は届出時】

£1		配业	Ĺ	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
外	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	1前 1後	2	2							1
国語	英語コミュニケーションⅢ	1版 2前		2							1
科	中国語 I	2前		2							1
目	中国語Ⅱ	2後		2							1
情	情報処理 I	1前	1								1
報	情報処理Ⅱ	1後	1								1
科目	情報処理論	2後		2							1
	生活統計	2後		2							1
	鈴鹿学	1前	2			1	1				
	社会学	1前		2		1					
	心理学	1前		2							1
	多文化理解	1後		2							1
	文化人類学	1前		2							1
	経営学総論	1後		2							1
	マーケティング論	1前		2							1
	日本国憲法	1後		2							1
総	人権論	2前		2							1
合科	国際関係論 歴史学	2後		2							1
目		2後		2							1
	宗教学	2後		2		1					
	こころの癒しと音楽	1後		2							1
	科学と芸術の間(音楽史) 環境学	1後		2							1
	生物学	2後		2							1
	自然科学基礎	1前 1後		2							1
	数理工学	2前		2							1
	スポーツと健康Ⅰ(実技)	2削 1後		1							1
	スポーツと健康Ⅱ(講義)	2後		1							
	キャリアデザイン I	1後	2	-		1			1		_
実	キャリアデザインⅡ	2前	2			1	1		<b>'</b>		
務教	キャリアデザインⅢ	3後	_	2		2	'				
育	キャリアデザインⅣ	4前		2		2					
科目	ボランティア活動	2前		1		_					1
	インターンシップ	2前		1		1					
基礎	基礎ゼミナール I	1前	2			3	3		1		
演習	基礎ゼミナールⅡ	1後	2			3	3		1		
科	基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ	2前 2後	2			3	1		3		
目	児童文化と表現	1後	<u> </u>	2		Ť	<u> </u>		1		
	学童保育論	1前		2		1					
	地域福祉論	3後		2		1					
	レクリエーション概論	1後		2			1				
共	学童保育実習事前事後指導	2前		1		1					
通専	学童保育実習	2前		2		1					
門	幼児英語指導法	2後		2							1
教	学童保育方法論	1後		2		1					
育科	社会福祉概論	2前		2		1					
目	特別支援教育概論	2前		2							1
	レクリエーション活動援助法	2後		2			1				
	データ分析法	3後		2		1					
	教育社会学	3後		2		1					
	レクリエーション実習	4通		2			1				

# 【平成30年度】

	<ul><li>・成3 ○ 年度】</li><li>配 単位数 専任教員等の配置</li></ul>									兼	
科目	授業科目の名称	当	必	選	自	教	准	具寸講	助	助	任・
区分	Section H. A. H. Ja.	年次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼 担
外	英語コミュニケーションI	1前	2								4
国	英語コミュニケーションⅡ	1後		2							1
語	英語コミュニケーションⅢ	2前		2							1
科目	中国語I	2前		2							1
н	中国語Ⅱ	2後		2							1
情	情報処理I	1前	1								1
報	情報処理Ⅱ	1後	1								1
科目	情報処理論	2後		2							1
н	生活統計	2後		2							1
	鈴鹿学	1前	2				1		1		
	社会学	1前		2		1					
	心理学	1前		2		1					
	多文化理解	1後		2							1
	文化人類学	1前		2							1
	経営学総論	1後		2							1
	マーケティング論	1前		2							,
	日本国憲法										
		1後		2							
総	人権論	2前		2							1
合科	国際関係論	2後		2							1
目	歴史学	2後		2							1
_	宗教学	2後		2		1					
	こころの癒しと音楽	1後		2							1
	科学と芸術の間 (音楽史)	1後		2							1
	環境学	2後		2							1
	生物学	1前		2							1
	自然科学基礎	1後		2							1
	数理工学	2前		2							1
	スポーツと健康Ⅰ(実技)	1後		1							1
	スポーツと健康 II (講義)	2後		1							1
	キャリアデザイン I	1後	2			1			1		Ė
実	キャリアデザインⅡ	2前	2			1	1				
務教	キャリアデザインⅢ	3後	_	2		2					
育	キャリアデザインⅣ	4前		2		2					
科	ボランティア活動	2前		1		1					
目	インターンシップ	2前 2前		1		1					
基	基礎ゼミナール I	1前	2			3	3		1		
礎演	基礎ゼミナールⅡ	1後	2			3	3		1		
習科	基礎ゼミナールⅢ	2前	2			3	2		2		
日	基礎ゼミナールⅣ	2後	2			3	2		2		
	児童文化と表現	1後		2					1		
	学童保育論	1前		2		1					
	地域福祉論	3後		2		1					
	レクリエーション概論	1後		2			1				
共	学童保育実習事前事後指導	2前		1		1					
通	学童保育実習	2前		2		1					
専門	幼児英語指導法	2後		2							1
教	学童保育方法論	1後		2		1					
育	社会福祉概論	2前		2		1					
科目	特別支援教育概論	2前		2							1
П	レクリエーション活動援助法	2後		2			1				l
	データ分析法	2饭 3後		2		1	<b>'</b>				
		3後 3後				1					
		44±	1	2		1	1	1	i		
	教育社会学 レクリエーション実習	4通		2			1				

<i>1</i> 4 E		配	Ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
	こども学概論	1前	修	択 2	由	授	授 1	師	教	手	担
	保育の心理学 I	1前		2					1		
	保育の心理学Ⅱ	2後		1					1		
	こどもと家庭の福祉	2後		2							
	乳児の保育	2前		2							1
	相談援助	3後		1		1					
	こどもの保健 I	3前		2		1					
	こどもの保健Ⅱ	3後		2		1					
	こどもの保健演習	3後		1							1
保	こどもと社会のソーシャルワーク I	3前		2							
育	こどもと社会のソーシャルワークⅡ	3後		1							
教	保育表現技術演習 I (音楽)	3前		1		1					1
育科	保育表現技術演習Ⅱ(造形)	3後		1			1				
目	こどもの食と栄養	3後		2		1					
	家庭・子育て支援論	4後		2			1				
	保育表現技術演習Ⅲ (こどもの文化)	4前		1			1				
	保育内容総論	4前		1		1					
	保育実習指導 I (保育所)	2後		1		1					
	保育実習 I (保育所)	2後		2		1					
	保育実習指導 I (施設)	3前		1		1					
	保育実習I(施設)	3前		2		1					
	保育実習指導Ⅱ又はⅢ(保育所又は施設)	4前		1					1		1
	保育実習Ⅱ又はⅢ(保育所又は施設)	4前		2					1		1
	(保育表図 I 又はIII (保育所又は施設)	2前		2		1					
	教育心理学 (幼稚園)	2前	2				1				
	教育心理学(幼稚園) 教育方法と技術(幼稚園)	2後		2							1
	幼稚園教育実習事前事後指導	3前		1		1					
		3前		4		1					
	保育原理	1後	2			1					
	教育原理(幼稚園・保育)	1前	2								1
	幼児教育者論	1後	2			1					
	こどもと音楽 I	1前	2						1		
	こどもと音楽Ⅱ	1後		2					1		
幼	保育内容(健康)	1後		2			1				
児	保育内容(人間関係)	1後		2		1					
· 保	保育内容(環境)	2前		2							1
育	保育内容(言葉)	2前		2		1					١.
教	保育内容 (表現 I 音楽) 障がい児の支援	2後 2後		2		1					1
育科	こども造形の基礎I	2版 2前	2	_			1				<b>'</b>
目	こども造形の基礎Ⅱ	2 別 2 後		2			1				
	こどもの運動遊びI	2 2前	2	_			1				
	こどもの運動遊びⅡ	2後	_	2			1				
	保育内容(表現Ⅱ造形)	2後		2			1				
	こどもとことば	3後	2			1	<b>'</b>				
	こどもの理解	3前	_	1		l	1				
	教育・保育課程論	3前		2							1
	保育指導法	3前	2			1					
	こどもと保育カウンセリング	3前		1			1				
	こどものかがく	4前		2		1					
	教職・保育実践演習	4後		2		2					
	ゼミナール I	3前	2	<del>-</del>		5	3	1	2		
演	ゼミナールⅡ	3後	2			5	3	1	2		
浬	ゼミナール皿	4前	2			5	3	1	2		
_	ゼミナールIV	4的 4後	2			5	3	1	2		
	/ /VIV	→  久	^ ا	l		,	٦	l '	^ ا		

		配	j	単位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任	I
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助		
		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼 担	
	こども学概論	1前		2			1					
	保育の心理学 I 保育の心理学 II	1前 2後		2			1					
	こどもと家庭の福祉	2後		2			'					
	乳児の保育	2前		2							1	
	相談援助	3後		1		1						
	こどもの保健 I	3前		2		1						
	こどもの保健Ⅱ	3後		2		1						
	こどもの保健演習	3後		1							1	
-	こどもと社会のソーシャルワーク I	3前		2								
保育	こどもと社会のソーシャルワーク II	3後		1								
教	保育表現技術演習I(音楽)	3前		1		1					1	
育科	保育表現技術演習Ⅱ (造形)	3後		1			1					
目	こどもの食と栄養	3後		2		1						
	家庭・子育て支援論	4後		2			1					
	保育表現技術演習皿 (こどもの文化)	4前		1			1					
	保育内容総論	4前		1		1						
	保育実習指導 I (保育所)	2後		1		1						
	保育実習 I (保育所)	2後		2		1						
	保育実習指導 I (施設)	3前		1		1						
	保育実習I(施設)	3前		2		1						
	保育実習指導Ⅱ又はⅢ(保育所又は施設)	4前		1					1		1	
	保育実習Ⅱ又はⅢ (保育所又は施設)	4前		2					1		1	
	教育と社会(幼稚園)	2前		2		1					1	
	教育心理学 (幼稚園)	2前	2				1					
	教育方法と技術(幼稚園)	2後		2							1	
	幼稚園教育実習事前事後指導	3前		1		1						
	幼稚園教育実習	3前		4		1						
	保育原理	1後	2			1						
	教育原理(幼稚園・保育)	1前	2								1	
	幼児教育者論	1後	2			1						
	こどもと音楽 I	1前	2						1			
	こどもと音楽Ⅱ	1後		2					1			
幼	保育内容(健康)	1後		2								
児	保育内容(人間関係)	1後		2		1						
· 保	保育内容(環境) 保育内容(言葉)	2前		2							1	
育	保育内容(表現 I 音楽)	2前 2後		2		1					1	
教育	障がい児の支援	2後		2		ľ					1	
科	こども造形の基礎I	2前	2				1					
目	こども造形の基礎Ⅱ	2後		2			1					
	こどもの運動遊び I	2前	2								1	
	こどもの運動遊びⅡ	2後		2								
	保育内容 (表現Ⅱ造形)	2後		2			1					
	こどもとことば	3後	2			1						
	こどもの理解	3前		1			1					
	教育・保育課程論	3前		2							1	
	保育指導法	3前	2			1						
	こどもと保育カウンセリング	0 13.3		1			1					
	こどものかがく	4前		2		1						
	教職・保育実践演習	4後		2		2						
	ゼミナール I	3前	2			5	4	1	1			
演	ゼミナールⅡ	3後	2			5	4	1	1			
習	ゼミナールⅢ	4前	2			5	4	1	1			
	ゼミナールⅣ	4後	2			5	4	1	1			
		_	_	_								_

# 【平成29年度】

		配	<u>i</u>	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
外	英語コミュニケーション I	1前	2								4
国	英語コミュニケーションⅡ	1後		2							1
語科	英語コミュニケーションⅢ	2前		2							1
目	中国語 I 中国語 II	2前 2後		2							1
	情報処理I	1前	1								1
情報	情報処理Ⅱ	1後	1								1
科	情報処理論	2後	·	2							1
目	生活統計	2後		2							1
	鈴鹿学	1前	2	_		1		1			
	社会学	1前	_	2		1					
	心理学	1前		2		·					1
	多文化理解	1後		2							1
	文化人類学	1前		2							1
	経営学総論	1後		2							1
	マーケティング論	1前		2							1
	日本国憲法	1後		2							1
	人権論			2							1
総	国際関係論	2前									
合科	国际関係   歴史学	2後		2							1
目		2後		2							1
	宗教学	2後		2		1					
	こころの癒しと音楽	1後		2							1
	科学と芸術の間(音楽史)	1後		2							1
	環境学	2後		2							1
	生物学	1前		2							1
	自然科学基礎	1後		2							1
	数理工学	2前		2							1
	スポーツと健康Ⅰ(実技)	1後		1							1
	スポーツと健康Ⅱ(講義)	2後		1							1
実	キャリアデザイン I	1後	2			1			1		
務	キャリアデザインⅡ	2前	2			1	1				
教育	キャリアデザインⅢ	3後		2		2					
科	キャリアデザインⅣ			2		2					
目	ボランティア活動	2前		1							1
基	インターンシップ 基礎ゼミナール I	2前 1前	2	1		3	3		1		
礎演	基礎ゼミナールⅡ	1後	2			3	3		1		
習	基礎ゼミナールⅢ	2前	2			3	1		3		
科目	基礎ゼミナールⅣ	2後	2			3	1		3		
	児童文化と表現	1後		2					1		
	学童保育論	1前		2		1					
	地域福祉論	3後		2		1					
	レクリエーション概論	1後		2			1				
共	学童保育実習事前事後指導	2前		1		1					
通専	学童保育実習	2前		2		1					
門	幼児英語指導法	2後		2							1
教	学童保育方法論	1後		2		1					
育科	社会福祉概論	2前		2		1					
目	特別支援教育概論	2前		2							1
	レクリエーション活動援助法	2後		2			1				
Ī	データ分析法	3後		2		1					
	教育社会学	3後		2		1					
	レクリエーション実習	4通		2			1				
<u> </u>				<u> </u>			<u> </u>		l	<b>i</b>	

		配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	こども学概論	1前		2			1				
	保育の心理学Ⅰ	1前		2					1		
	保育の心理学Ⅱ	2後		1					1		
	こどもと家庭の福祉 乳児の保育	2後		2							
	相談援助	2前 3後		2							1
	一世談版助 こどもの保健 I	3仮 3前		2		1					
	こどもの保健Ⅱ	3後		2		1					
	こどもの保健演習	3後		1		l '					1
保	こどもと社会のソーシャルワークⅠ	3前		2							•
育	こどもと社会のソーシャルワーク II	3後		1							
教	保育表現技術演習Ⅰ(音楽)	3前		1		1					1
育	保育表現技術演習Ⅱ (造形)	3後		1			1				
日	こどもの食と栄養	3後		2		1					
-	家庭・子育て支援論	4後		2			1				
	保育表現技術演習Ⅲ(こどもの文化)	4前		1			1				
1	保育内容総論	4前		1		1	ĺ				
	保育実習指導I(保育所)	2後		1		1					
	保育実習I(保育所)	2後		2		1					
	保育実習指導 I (施設)	3前		1		1					
	保育実習I(施設)	3前		2		1					
	保育実習指導Ⅱ又はⅢ(保育所又は施設)	4前		1					1		1
	保育実習エスはII (保育所又は施設) 教育と社会(幼稚園)	4前		2		1			1		1
	教育と社会(幼稚園)	2前	2	2		'	1				
	教育方法と技術(幼稚園)	2前 2後		2			'				1
	幼稚園教育実習事前事後指導	3前		1		1					'
	幼稚園教育実習	3前		4		1					
	保育原理	1後	2	-		1					
	教育原理(幼稚園・保育)	1前	2			ľ					1
	幼児教育者論	1後	2			1					-
	こどもと音楽 I	1前	2						1		
	こどもと音楽Ⅱ	1後		2					1		
幼	保育内容(健康)	1後		2			1				
児	保育内容(人間関係)	1後		2		1					
保	保育内容(環境)	2前		2							1
育	保育内容(言葉)	2前		2		1					
教	保育内容(表現 I 音楽)	2後		2		1					1
育	障がい児の支援	2後		2							1
科	こども造形の基礎Ⅰ	2前	2	_			1				
目	こども造形の基礎Ⅱ	2後	_	2			1				
	こどもの運動遊びI	2前	2	_			1				
	こどもの運動遊びⅡ 保育内容(表現Ⅱ造形)	2後		2			1				
	こどもとことば	2後 3後	2	^		1	1				
	こどもの理解	3饭 3前	_	1		l '	1				
	教育・保育課程論	3前		2			'				1
	保育指導法	3前	2			1					
	こどもと保育カウンセリング	3前	-	1		l	1				
	こどものかがく	4前		2		1	'				
	教職・保育実践演習	4後		2		2					
	ゼミナール I	3前	2			5	3	1	2		
演	ゼミナールⅡ	3後	2			5	3	1	2		
習	ゼミナールⅢ	4前	2			5	3	1	2		
	ゼミナールⅣ	4後	2			5	3	1	2		
	l										

- 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。

  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

  - ・ <u>1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入</u>してください。 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

# 2 授業科目の概要

<こども教育学部 こども教育学科 幼児教育学専攻>

# (1)一① 授業科目表

# 【認可時又は届出時】

科目		配当		単位数			任教				兼任	£	4目	
区分	授業科目の名称	年次	必	選	自	教	准教:	講	助	助	兼		≅分	
	英語コミュニケーションI	1前	<u>修</u>	択	由	授	授	師	教	手	担 4		r. I	英
外国	英語コミュニケーションⅡ	1後	_	2							1		外 国	英
語	英語コミュニケーションⅢ	2前		2							1		語	英語
科目	中国語 I	2前		2							1		科 目	中
	中国語Ⅱ	2後		2							1			中
情	情報処理I	1前	1								1		情	情
報	情報処理Ⅱ	1後	1								1		報	情
科目	情報処理論	2後		2							1		科 目	帽
	生活統計	2後		2							1			4
	鈴鹿学	1前	2			1	1							釺
	社会学	1前		2		1								社
	心理学	1前		2							1			۱Ĺ
	多文化理解	1後		2							1			3
	文化人類学	1前		2							1			Ż
	経営学総論	1後		2							1			彩
	マーケティング論	1前		2							1			7
	日本国憲法	1後		2							1			E
総	人権論	2前		2							1		総	J
合	国際関係論	2後		2							1		合	3
科目	歴史学	2後		2							1		科 目	歴
_	宗教学	2後		2		1							_	叧
	こころの癒しと音楽	1後		2							1			Ξ
	科学と芸術の間(音楽史)	1後		2							1			科
	環境学	2後		2							1			ij
	生物学	1前		2							1			4
	自然科学基礎	1後		2							1			É
	数理工学	2前		2							1			娄
	スポーツと健康 I (実技)	1後		1							1			ス
	スポーツと健康Ⅱ(講義)	2後		1							1			ス
#	キャリアデザインI	1後	2			1			1				#	+
実務	キャリアデザインⅡ	2前	2			1	1						実 務	‡
教	キャリアデザインⅢ	3後		2		2							教	+
育科	キャリアデザインⅣ	4前		2		2							育 科	#
目	ボランティア活動	2前		1							1		目	7
基	インターンシップ	2前		1		1							基	1
礎	基礎ゼミナールⅠ	1前	2			3	3		1				礎	麦麦
演 習	基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ	1後 2前	2			3	3		1 3				演 習	<b>基</b>
科目	基礎ゼミナールⅣ	2後	2			3	1		3				科 目	麦
_	児童文化と表現	1後		2					1					ال
	学童保育論	1前		2		1								j
	地域福祉論	3後		2		1								坩
	レクリエーション概論	1後		2			1							L
共	学童保育実習事前事後指導	2前		1		1							共	学
通専	学童保育実習	2前		2		1							通専	亨
界門	幼児英語指導法	2後		2							1		<del>界</del> 門	幺
教	学童保育方法論	1後		2		1							教	Ť
育科	社会福祉概論	2前		2		1							育 科	礻
目	特別支援教育概論	2前		2							1		目	华
	レクリエーション活動援助法	2後		2			1							レ
	データ分析法	3後		2		1								Ŧ
				l -	1		1	1	1			i I		١
	教育社会学	3後		2		1								教

# 【平成30年度】

	₹成30年度】	配				専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
_/,		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
外	英語コミュニケーションI	1前	2								2
国	英語コミュニケーションⅡ	1後		2							1
語	英語コミュニケーションⅢ	2前		2							1
科目	中国語I	2前		2							1
	中国語Ⅱ	2後		2							1
情	情報処理I	1前	1								1
報	情報処理Ⅱ	1後	1								1
科	情報処理論	2後		2							1
目	生活統計	2後		2							1
	鈴鹿学	1前	2				1		1		
	社会学	1前		2		1					
	心理学	1前		2		1					
	多文化理解	1後		2							1
	文化人類学	1前		2							1
	文化 八類子 経営学総論			_							
		1後		2							1
	マーケティング論	1前		2							1
	日本国憲法	1後		2							1
総	人権論	2前		2							1
合	国際関係論	2後		2							1
科目	歴史学	2後		2							1
	宗教学	2後		2		1					
	こころの癒しと音楽	1後		2							1
	科学と芸術の間 (音楽史)	1後		2							1
	環境学	2後		2							1
	生物学	1前		2							1
	自然科学基礎	1後		2							1
	数理工学	2前		2							1
	<b>女 生 土 于</b>   スポーツと健康 I (実技)			_							
		1後		1							1
	スポーツと健康Ⅱ(講義)	2後	_	1		_			_		1
実	キャリアデザインI	1後	2			1			1		
務	キャリアデザインⅡ	2前	2			1	1				
教育	キャリアデザインⅢ	3後		2		2					
育科	キャリアデザインⅣ	4前		2		2					
目	ボランティア活動	2前		1		1					
基	インターンシップ	2前	_	1		1	_				
礎	基礎ゼミナール I	1前	2			3	3		1		
演 習	基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ	1後	2			3	3		1		
科	基礎ゼミナールⅣ	2前 2後	2			3	2		2		
目	型硬セミノールIV 児童文化と表現			2			-		1		-
	完里文化と表現 学童保育論	1後		2		1			<b>'</b>		
	字里保育語 地域福祉論	1前									
		3後		2		1	_				
	レクリエーション概論	1後		2		١	1				
共通	学童保育実習事前事後指導	2前		1		1					
専	学童保育実習	2前		2		1					
門	幼児英語指導法	2後		2							1
教育	学童保育方法論	1後		2		1					
育科	社会福祉概論	2前		2		1					
目	特別支援教育概論	2前		2							1
	レクリエーション活動援助法	2後		2			1				
	データ分析法	3後		2		1					
	教育社会学	3後		2		1					
	レクリエーション実習	4通		2			1				
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	~ Œ					'				

		配	Ě	单位数	汝	専	任教	[員等	の配	置	兼
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
	こども学概論	1前		2			1				
	保育の心理学Ⅰ	1前		2					1		
	保育の心理学Ⅱ	2後		1					1		
	こどもと家庭の福祉	2後		2							
	乳児の保育	2前		2							1
	相談援助	3後		1		1					
	こどもの保健I	3前		2		1					
	こどもの保健Ⅱ	3後		2		1					
	こどもの保健演習	3後		1							1
保	こどもと社会のソーシャルワーク I	3前		2							
育	こどもと社会のソーシャルワーク II	3後		1							
教	保育表現技術演習 I (音楽)	3前		1		1					1
育科	保育表現技術演習 II (造形)	3後		1			1				
目	こどもの食と栄養	3後		2		1					
	家庭・子育て支援論	4後		2			1				
	保育表現技術演習Ⅲ (こどもの文化)	4前		1			1				
	保育内容総論	4前		1		1					
	保育実習指導 I (保育所)	2後		1		1					
	保育実習 I (保育所)	2後		2		1					
	保育実習指導 I (施設)	3前		1		1					
	保育実習I(施設)	3前		2		1					
	保育実習指導 I 又は II (保育所又は施設)	4前		1		·			1		1
	保育実習II又はII(保育所又は施設)	4前		2					1		1
	教育と社会(幼稚園)	2前		2		1			'		
	教育心理学(幼稚園)	2前	2			ļ '	1				
	教育方法と技術(幼稚園)		2				'				١.,
		2後		2							1
	幼稚園教育実習事前事後指導	3前		1		1					
	幼稚園教育実習	3前		4		1					
	保育原理	1後	2			1					
	教育原理(幼稚園・保育)	1前	2								1
	幼児教育者論	1後	2			1					
	こどもと音楽I	1前	2						1		
	こどもと音楽Ⅱ	1後		2					1		
幼	保育内容(健康)	1後		2			1				
児	保育内容(人間関係)	1後		2		1					
保	保育内容(環境)	2前		2							1
育	保育内容(言葉) 保育内容(表現 I 音楽)	2前 2後		2		1					1
教育	障がい児の支援	2後 2後		2		Ι΄.					1
科	こども造形の基礎I	2前	2				1				
目	こども造形の基礎Ⅱ	2後	_	2			1				
	こどもの運動遊び I	2前	2	_			1				
	こどもの運動遊びⅡ	2後		2			1				
	保育内容(表現Ⅱ造形)	2後		2			1				
	こどもとことば	3後	2	_		1					
	こどもの理解	3前	_	1		Ι΄.	1				
	教育・保育課程論	3前		2							1
	保育指導法	3前	2	-		1					l '
	こどもと保育カウンセリング		_	1		·	1				
	こどものかがく	3前 4前		2		1	<b>'</b>				
	教職・保育実践演習	4制		2		2					
-	ゼミナール I		2				3	1	2		-
۱		3前				5			2		
演習	ゼミナールⅡ	3後	2			5	3	1	2		
	ゼミナール田	4前	2			5	3	1	2		
1	ゼミナールⅣ	4後	2			5	3	1	2		

		配	Ĺ	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任	l
科目区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	兼	
		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	担	
	こども学概論	1前		2			1					
	保育の心理学 I 保育の心理学 II	1前		2			1					
	休月の心理子     こどもと家庭の福祉	2後		1			1					
	乳児の保育	2後 2前		2		1					1	
	相談援助	3後		1		1					'	
	こどもの保健Ⅰ	3前		2		1						
	こどもの保健Ⅱ	3後		2		1						
	こどもの保健演習	3後		1							1	
	こどもと社会のソーシャルワークI	3前		2		1					'	
保	こどもと社会のソーシャルワークⅡ	3後		1		1						
育教	保育表現技術演習I(音楽)	3前		1		1					1	
育	保育表現技術演習 II (造形)	3後		1		'	1				'	
科	こどもの食と栄養	3後		2		1	'					
目	家庭・子育て支援論			2		'	1					
		4後		1			1					
		4前					<b>'</b>					
	保育内容総論 保育実習指導 I(保育所)	4前		1		1						
		2後		1		1						
	保育実習Ⅰ(保育所)	2後		2		1						
	保育実習指導 I(施設)	3前		1		1						
	保育実習I(施設)	3前		2		1						
	保育実習指導Ⅱ又はⅢ(保育所又は施設)	4前		1					1		1	
	保育実習Ⅱ又はⅢ(保育所又は施設)	4前		2					1		1	
	教育と社会(幼稚園)	2前		2		1					1	
	教育心理学(幼稚園)	2前	2				1					
	教育方法と技術(幼稚園)	2後		2							1	
	幼稚園教育実習事前事後指導	3前		1		1						
	幼稚園教育実習	3前		4		1						
	保育原理	1後	2			1						
	教育原理(幼稚園・保育)	1前	2								1	
	幼児教育者論	1後	2			1						
	こどもと音楽I	1前	2						1			
	こどもと音楽Ⅱ	1後		2					1			
幼	保育内容(健康)	1後		2			1					
児・	保育内容(人間関係) 保育内容(環境)	1後		2		1						
保	保育内容(言葉)	2前 2前		2		1					1	
育	保育内容(表現 I 音楽)	2削 2後		2		1					1	
教育	障がい児の支援	2後		2							1	
科	こども造形の基礎I	2前	2				1					
目	こども造形の基礎Ⅱ	2後		2			1					
	こどもの運動遊び I	2前	2								1	
	こどもの運動遊びⅡ	2後		2			1					
	保育内容 (表現Ⅱ造形)	2後		2			1					
	こどもとことば	3後	2			1						
	こどもの理解	3前		1			1					
	教育・保育課程論	3前		2							1	
	保育指導法	3前	2			1						
	こどもと保育カウンセリング	3前		1			1					
	こどものかがく	4前		2		1						
	教職・保育実践演習	4後		2		2						
	ゼミナール I	3前	2			5	4	1	1			
演	ゼミナールⅡ	3後	2			5	4	1	1			
習	ゼミナールⅢ	4前	2			5	4	1	1			
	ゼミナールⅣ	4後	2			5	4	1	1			
Ь—	l .											

# 【平成29年度】

特別			配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
株	科目 区分	授業科目の名称		必	選	自	教		講	助	助	兼
大田   1後   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1					択	由	授		師	教	手	担
語科目 中国語 I 2前 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				2	0							2
中国語	_											1
日   情報和目   1後   1   1   1   1   1   1   1   1												1
情報処理 I 1前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	目											1
報科目 1後 1 情報処理証 1後 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	.+			1	_							1
科目		情報処理Ⅱ	1後	1								1
### 15	科	情報処理論			2							1
### 1	目	生活統計			2							1
<ul> <li>心理学 1前 2</li> <li>多文化、理解 1後 2</li> <li>文化、類学 1前 2</li> <li>経営学・ティング論 1前 2</li> <li>日本本論 2前 2</li> <li>国際関係論 2後 2</li> <li>国際 学 2後 2</li> <li>宗教学 2後 2</li> <li>宗教の癒しと音楽 1後 2</li> <li>理境学 2後 2</li> <li>自然 2</li> <li>自然 2</li> <li>生物学 2後 2</li> <li>生物学 1後 2</li> <li>生物学 2を 2を 1</li> <li>自然 2 2</li> <li>生物学 2を 2を 2を 1</li> <li>生物学 3を 2を 2を</li></ul>		鈴鹿学	1前	2			1		1			
多文化理解       1後       2         文化人類学       1前       2         経営学総論       1後       2         可本国論法       2後       2         日本国論法       2後       2         国際財子の憲法       2後       2         国際財子と表情の間(音楽史)       1後       2         理場を登場できるのの癒しと音楽       1後       2         日本の子学基礎       1後       2         大木一ツと健康川(漢版)       1後       2         大木一ツと健康川(漢版)       1後       2         大木一ツと健康川(漢版)       1後       1         大木一ツアデザインI       1後       2         本ヤリアデザインI       1後       2         キャリアデザインI       16後       2         キャリアデザインI       1前       2         キャリアデザインI       1前       2         本・セリアデザインI       1前       2         本・セリアデザインI       1前       2         基礎建せビミナールII       16後       2         本・セリテンシール I       11後       2         基礎でごまサール I       2       3       1         リウェー素の書籍等実施       2       1         中域福子と野神 (議議)       2       1         大通報       2       1         大通報 <td< td=""><td></td><td>社会学</td><td>1前</td><td></td><td>2</td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>		社会学	1前		2		1					
多文化理解       1後       2       1<		心理学	1前		2							1
文化人類学		多文化理解			2							1
経営学統論 1後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		文化人類学			2							1
マーケティング論 1前 2 2												1
日本国憲法 1後 2												1
総合科目												1
総合科目  歴史学 宗教学 こころの癒しと音楽 科学と基柄の間(音楽史) 1後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1												1
歴史学 2後 2 1 1 2 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1												1
日												1
こころの癒しと音楽   1後   2   1   2   3   3   1   3   3   3   3   3   3   3												'
科学と芸術の間(音楽史) 1後 2 2							'					
環境学 2後 2 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1												
生物学 1前 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1												-
自然科学基礎 2前 2 2前												-
数理工学 2前 2 1 1 1 1 1 2 2												1
スポーツと健康 I (実技)   1後   2後   1   1   1   1   1   1   1   1   1												1
スポーツと健康   (講義)   2後												1
キャリアデザイン I   1後   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1												1
実務教育   キャリアデザイン			-		1							1
務       キャリアデザインII       2       1       1         育科目       キャリアデザインIV       4前       2       2         ボランティア活動 インターンシップ 2前       1       1       1         基礎ゼミナールII 1後 2       3       3       1         基礎ゼミナールII 2前 2       3       1       3         基礎ゼミナールIV 2後 2       3       1       3         児童文化と表現 1後 2       1       3       1         児童保育論       1前 2       1       3         地域福祉論       2       1       1         レクリエーション概論       2       1       1         学童保育実習事前事後指導学       2前 2       1       1         学童保育実習事前事後指導学       2前 2       1       1         学童保育方法論       1後 2       1       1         村田       2       1       1       1         学童保育方法論       1後 2       1       1         村田       2       1       2       1         村田       2       1       1       1         大童童保育実習事前事後指導 2       2       1       1       1         大童会福祉概論       2       1       1       1         大童会福祉概論       2       1       1 </td <td>実</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td>	実									1		
キャリアデザインIV   4前   2   2   2   1   1   1   1   1   1   1	務			2			1	1				
科目 ボランティア活動 2前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	-:		3後		2		2					
インターンシップ 2前 1 1 1							2					
基礎 世ミナール I 1前 2 3 3 3 1 3 1 3 3 1 3 3 1 3 3 1 3 3 3 1 3 3 3 1 3 3 3 3 1 3 3 3 3 1 3	目											1
<ul> <li>基礎ゼミナールII 1後 2 3 1 3 3 1 3 1 3 3 1 3 1 3 1 3 3 1 3 1 3 3 1</li></ul>	基			2	1			3		1		
基礎ゼミナール   2前 2 3 1 3 1 3 3 1												
日本版セミナールIV 2後 2 3 1 3 1 3   1	習											
学童保育論 1前 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		基礎ゼミナールⅣ		2			3	1		3		L
地域福祉論 レクリエーション概論 1後 2 1  共 学童保育実習事前事後指導 専門 学童保育実習 2前 2 1  幼児英語指導法 2後 2  学童保育方法論 1後 2 1  教育 社会福祉概論 2前 2 1  特別支援教育概論 2前 2 1  特別支援教育概論 2前 2 1  トクリエーション活動援助法 2後 2 1  データ分析法 3後 2 1			1後		2					1		
レクリエーション概論     1後     2     1       共     学童保育実習事前事後指導     2前     1       学童保育実習     2前     2     1       幼児英語指導法     2後     2       学童保育方法論     1後     2     1       社会福祉概論     2前     2     1       特別支援教育概論     2前     2     1       レクリエーション活動援助法     2後     2     1       アータ分析法     3後     2     1       教育社会学     3後     2     1		学童保育論	1前		2		1					
共     学童保育実習事前事後指導     2前     1     1       学童保育実習     2前     2     1       学童保育実習     2前     2     1       幼児英語指導法     2後     2     1       教学童保育方法論     1後     2     1       社会福祉概論     2前     2     1       特別支援教育概論     2前     2     1       レクリエーション活動援助法     2後     2     1       データ分析法     3後     2     1       教育社会学     3後     2     1		地域福祉論	3後		2		1					
連専門 対別英語指導法     2       教育科目     2       サウリエーション活動援助法     2       大クリエーション活動援助法     2       大クリエーション活動援助法     2       大クリエーション活動援助法     2       大クリエーション活動援助法     2       大クリオーション活動援助法     2       大クリオーション活動援助法     2       大クリオーション活動援助法     2       大クリオーション活動援助法     2       大クカ析法     3       教育社会学     3       2     1       1     1       大力リオーション活動援助法     2       大力リオーション活動援助法     2       大力リオーション活動援助法     2       大力リオーション活動援助法     2       大力リオーション活動援助法     2       大力財     3       大力リオーション活動援助法     2       大力リオーション活動援助法     3       大力リオーション活動援助法     3       大力リオーション活動援助法     3       大力リオーション・アーシ		レクリエーション概論	1後		2			1				
専門     少量保育美自     2間     2     1       幼児英語指導法     2後     2     1       教 学童保育方法論     1後     2     1       社会福祉概論     2前     2     1       特別支援教育概論     2前     2     1       レクリエーション活動援助法     2後     2     1       データ分析法     3後     2     1       教育社会学     3後     2     1		学童保育実習事前事後指導	2前		1		1					
門 幼児英語指導法     2後     2       教 学童保育方法論     1後     2     1       育 社会福祉概論     2前     2     1       日 特別支援教育概論     2前     2     1       レクリエーション活動援助法     2後     2     1       データ分析法     3後     2     1       教育社会学     3後     2     1		学童保育実習	2前		2		1					
育科目     社会福祉概論     2前     2     1       特別支援教育概論     2前     2       レクリエーション活動援助法     2後     2     1       データ分析法     3後     2     1       教育社会学     3後     2     1	門											1
科     社会福祉概論     2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			1後		2		1					
目 特別支援教育概論     2前     2       レクリエーション活動援助法     2後     2       データ分析法     3後     2       教育社会学     3後     2		社会福祉概論	2前		2		1					
データ分析法     3後     2     1       教育社会学     3後     2     1		特別支援教育概論	2前		2							1
教育社会学 3後 2 1		レクリエーション活動援助法	2後		2			1				
		データ分析法	3後		2		1					
		教育社会学	3後		2		1					
レクリエーション実習   4通   2   1   1		レクリエーション実習	4通		2			1				

		配	Ì	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	•
		次	修	択	由	授	<b>牧</b> 授	師	教	手	兼担
保育教育科目	こ保保では、	1 前後後前後前後前後前後後前 3 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 前	18	2 2 1 2 2 1 2 2 1 2 1 2 1 2 1 1 2 1	<u> </u>	1 1 1 1	1 1 1	BIL	1 1	+	1 1
	保育実習指導 I (保育所) 保育実習 I (保育所) 保育実習指導 I (施設) 保育実習 I (施設) <sup>保育実習</sup> I (施設) <sup>保育実習用第 I (保育所以(建設)</sup>	2後 2後 3前 3前 4前 4前		1 2 1 2 1 2		1 1 1			1 1		1
幼児・保育教育科目	教教教教物和行為、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、	4前 4後	2	2 1 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1		1 1		1 1 1 1
演習	ゼミナール I ゼミナール II ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	3前 3後 4前 4後	2 2 2 2			5 5 5 5	3 3 3	1 1 1 1	2 2 2 2		

- (注)・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。) を黒字で記載してください。 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

  - ・ <u>1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入</u>してください。 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) -②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】		
【平成30年度】		
「一次ので千度」		
【十成〇〇十段】		
1 + 10 0 0 + 10 1		
1+1000+101		
1 + 192 0 0 + 192 1		

- (注)・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。

  - 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
    ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
    ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

### (2) 授業科目数

	設置時	の計画			変更	状況		備考	
必修	必修 選択 自由 計(A)				選択	自由	計	1佣 行	
科目	科目	科目	科目	科目	科目 [ ]	科目	科目		

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合: $\Delta$ 1)

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	文化人類学	2	1	一般	選択	担当教員退職のため。翌年度開講予定。
2						
3						

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし			

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び 「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

# 3 施設・設備の整備状況、経費

	区		分				内				容				備考
(1)		区	分		専	用	共	用		共用する他 学校等の専			計		
校		校 绉	き 敷 坩	<u>t</u>		n	ที่	6, 064. 51	m		m <sup>*</sup>		,	064. 51 n	
权		運動	場用地	ļ		n	nî	17, 175. 00	mi		m <sup>*</sup>		17,	175. 00 n	
地		小	計	-		r	ก๋	23, 239. 51	mi		m <sup>*</sup>		23,	239. 51 n	ổ (必要面積1,800㎡) と共有
等		そ	の他	ļ.		n	ń	59, 218. 45	m		m³		59,	218. <b>4</b> 5n	ก๋
		合	計	-		n	ก๋	82, 457. 96			m <sup>®</sup>		82,	457. 96n	ก๋
					専	用	共	用		≒用する他 学校等の専			計		
(2) 校			舎			981. 33 n	ที่	8, 529. 83	mi	2, 10	8. 05 m <sup>2</sup>		11,	619. 21n	(必安則傾3, 200m)
					(	1, 084. 02m²)	(	6, 912. 54m	(	(	m³)	(	7, 99	96.56m²)	と共有
				講	義室	演	習室	実験実	習室	情報処理	学習施	設	語学学習	<b>肾施設</b>	
(3) 教		室	等		8	3 室	9 室	:	17室		3	3室			大学・短期大学部全体
										(補助職			甫助職員	(人0	
(4) 専	任教	7員研究	室				部等の名称	<u> </u>				<b>数</b>	数		大学・短期大学部全体 55室
						ども教育学部		育字科		l	16			室	-
(5)	亲	新設学部	部等		図書		析雑誌	雨マギュ	<b>-</b>	視聴覚資	料機	械・器具	具 標	本	
(5)		の名和		()	ち外国書〕	I (フェ	,外国書〕 種	電子ジャ			点		F	د	
				77,	296 [1, 68		1± 3 [ 11 ]	0 (			# 488	1, 3	点 32	3	大学・短期大学部全体   1   図書・設備充実のため
図書	ے ک	ども教育	育学部		884 [1,687 9 <mark>60 [1,68</mark> 4		(144)) <del>2 (6)</del>			( 540	)				(30)
• 記 ##					<del>96 [1, 684]</del> 296 [1, 68		<del>(11) )</del> 3 ( 11 )	0 [	0 ])	<del>-( 488</del>	<del>)</del> (	1, 332		31 )	<del>図書・設備充実のため</del> 1 <del>- (29)</del> -
備		計			84 [1, 687] 6 <del>0 [1, 684</del> ]		(144) ) <del>2 (6) )</del>			( 540	)				
					96 (1, 684)	<del>- (338</del>	(11)	( 0 [	0 ])	<del>-( 488</del>	) (	1, 332		31 )	
(6) 図		書	館		面	積	4.4.2	閲覧座	席数	200	収約	納 可	能 冊		
-						1, 331.	44 m		<b>比玄绘</b> N I	230 外のスポー	νι+ <del>/</del> τ≅π.	<b>少</b> 柳 亜		16.2万冊	HT .
(7) 体		育	館		面	積  1 745	00㎡ グ ·			<del>パのスポー</del> 1 面 テ	フル設			3 🖬	
			Þ	ζ	分	開設年度	完成年	1	分	開設前年		へ コ 開設年度		成年度	11
(8)		経費の見			ーク 「研究費等				購入費	1, 000=		1,000千		.以 牛 及 千 P	
経費の	)見	積り			究費等				購入費	113, 000=		+ 	_	 千P	
積り及維持方	ī法	学生 1			1年次	第2年が	1	3年次	第4年	<u> </u>	第5年	1		··· 6年次	
の概	M								=						
				以外の	 維持方法σ	<u> </u>			産運用収	<u> </u> .入、入学相	全料等				1
学生納付金以外の維持方法の概要 私立大学等経常費補助金、資産運用収入、入学検定料等															

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
  - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
    - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

# 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	鈴鹿大	学													ſī	青	考
既設学部等の名称	修業 年限	入定	学員	編別定	学員	収定	容員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開年	設度	所	在	地			
	年		人	4	羊次		人		倍								
大学院 国際学研究科	2	1	0	-	人 -	2	0	修士(国際学)	1. 03	平瓦	붗10	三重県鈴原 字西高山6					
国際人間科学部								(国际于)				三重県鈴原字西高山6					
国際学科	4	-	-	-	-	-	-	学士 (国際学)	-	平月	戎6						度より国際 集停止
国際人間科学部(新設) 国際学科	4	10	00	3年 1		42	20	学士 (国際学)	1. 10	平瓦	戈27	三重県鈴原 字西高山6					
こども教育学部				0.5								三重県鈴原 字西高山(					
こども教育学科	4	8	0		0	34	10	学士 (教育学)	0. 28	平成	<b>ኒ</b> 29						
幼児教育学専攻	4	4	0	3年 5	5	17	70	学士 (教育学)	0. 25	平成	ቲ29						
養護教育学専攻	4	4	0	3年 5		17	70	学士 (教育学)	0. 30	平月	<b>ቲ</b> 29						
大学の名称	鈴鹿大	学短	期大	学部	3										ſī	青	考
既設学部等の名称	修業 年限	入定	学員	編及定	学員	収定	容員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開年	設度	所	在	地			
生活コミュニケーション学科	年		人	4	丰次		人		倍			三重県鈴原字西高山(					
食物栄養学専攻	2	4	0	-	-	8	0	短期大学士 (生活学)	1. 06	昭和	□42						
こども学専攻	2	5	0	-	-	10	00	短期大学士 (生活学)	0. 76	平瓦	<b></b>				平成29: 入学定		է り 90→50)

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(<u>A C 対象学部等含む</u>)について、それぞれの学校種ごとに、 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
  - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、<u>入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし、</u> 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

#### 【平成29年度】

·平成29年4月田島孝次郎教授就任。平成28年12月教員審査済み。

#### 【平成30年度】

- 【平成30年4月泉正幸講師就任。平成29年6月教員審査済み。
   平成30年4月泉正幸講師就任。平成29年6月教員審査済み。
   平成29年度末、藤岡恭子教授退職。平成30年4月仲律子教授就任。平成29年12月教員審査済み。
   平成29年度末、藤岡恭子教授退職。平成30年4月から小川真由子助教が1科目を担当。平成29年12月教員審査済み。
   平成29年12月教員審査判定「兼任補充可」2科目について、1科目は、大日方真史(兼任)講師に変更。1科目は、平成31年4月から兼任教員採用予定。
   平成29年度末、榊原尉学生、李成29年12月教員審査済み。
   平成30年4月中山真助教から准教授に昇任。平成29年12月教員審査済み。
   竹中浩(兼任)講師辞任により、天野剛至(兼担)准教授に変更。
   高井和男(兼任)教授辞任により、平成30年10月兼任講師採用予定。

- (注)・変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  ・<mark>変可で設置された学部等の享任敬員を変更する場合</mark>は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
  大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。
  AC教員審査を受けずに享任教員として授業等を担当することは出来ません。
  ・「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略
  となっている場合は、「教員審査者略」と記入してください。
   不事な年度、ほぼる22年度問題なる大きに関することを問題なると、
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から 平成29年度)の表は適宜削除してください。

#### (2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14	7
名	名

(注)・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

#### (2) -② 専仟教員数

	設置時の計画				現在(報告書提出時)の状況					現在	(報告書提	出時)の完	成年度時の	計画
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	教 授	准教授	講師	助教	計 (C)
7	4	2	3	16	7	4	1	2	14	8	5	2	2	17
(5)	(4)	(0)	(3)	(12)						[1]	[1]	[0]	[△1]	[1]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。
  ・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
  ・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、「現在(報告書提出時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、
  完成年度までに試任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名滅の場合:△1)

#### (2) - ③ 年齢構成

	年齡構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(B))のあち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	4	7
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)。 「午節情成」には、当該子部におげる教員の定年に関する規定に基づくた年午節(特例等による定年午節ではありません)および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
   なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

  - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C) \_ \_ 設置時の計画(A)

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (2) 一⑤ 現在(報告書提出時)の状況における定年を延長している教員構成率

<u>報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数</u> =  $\frac{4}{14}$  =

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

# 5 教員組織の状況

# くこども教育学部 こども教育学科>

(1)	-1	担当教員表						
【認可	]時又(	は届出時】	【平月	戊29:	年度】	【平月	‡3 O :	年度】
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
申	教授	川文 俊則 (50) < 平成29年4月> 学童保育論 社会学 教職概論 宗教学 データ分析法 教育社会学 ゼミナールⅡ	専	教授	川又 俊則 (50) < 平成29年4月> 学童保育論 社会学 教職概論 宗教学 データ分析法 教育社会学 ゼミナールⅡ	中	教授	川又 俊則 (51) <平成29年4月> 学童保育論 社会学 教職概論 宗教学 データ分析法 教育社会学 ゼミナールⅡ
		ゼミナールIII ゼミナールIV 学童保育方法論 学童保育実習事前事後指導 学童保育実習 藤岡 (渡辺) 恭子			ゼミナールIII ゼミナールIV 学童保育方法論 学童保育実習事前事後指導 学童保育実習 藤岡 (渡辺) 恭子			ゼミナールIII ゼミナールIV 学童保育方法論 学童保育実習事前事後指導 学童保育実習
専	教授	(大変) (大変) (大変) (大変) (大変) (大変) (大変) (大変)	専	教授	(56) <b>〈平成29年4月〉</b> 鈴鹿学 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール II 教育と社会(養護・保健) 基礎ゼミナール II			
						專	教授	仲 (江口) 律子 (50) < 平成30年4月> 基礎ゼミナールI 基礎ゼミナールII 基礎ゼミナールII 基礎ゼミナールII 基礎ゼミナールII 基礎ゼミナールII 基礎ゼミナールII 世代指導論 (連路指導を含む) (保健) セ共指導論 (連路指導を含む) (保健) ゼミナール II ゼミナール II ゼミナール II ゼミナール II ゼミナール II ゼミナール II ボランティア活動 教育相談の理論と方法
専	教授	久保 (63) < 平成29年4月> 基礎ゼミナールI キャリアデザインI キャリアデザインII インターンシップ 基礎ゼミナールIV こどものの食品学を含む) こどもの食と栄養 キャリアデザインIII キャリアデザインIII	専	教授	久保 さつき (63) 《平成29年4月》 基礎ゼミナールI 基礎ゼミナールII キャリアデザインI キャリアデザインII インターンシップ 基礎ゼミナールIV こどものかがく 栄養学 (食品学を含む) こどもの食と栄養 キャリアデザインIII キャリアデザインIII キャリアデザインIII キャリアデザインIII	専	教授	久保 さつき (64) <平成29年4月> 基礎ゼミナールI 基礎ゼミナールI キャリアデザインI キャリアデザインI インターンシップ 基礎ゼミナールI こどものかがく 栄養学(食品学を含む) こどもの食と栄養 キャリアデザインII キャリアデザインII キャリアデザインIV

専任・			専任・			専任・		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	翠川 薫 (59)	専	教授	翠川 薫 (58)	専	教授	翠川 薫 (59) < 平成31年4月> こどもの保健 I こどもの保健 I ゼミナール I ゼミナール II 衛生学及び公衆衛生学 (各論) ゼミナールII ボニールII ボニールII ゼミナールII ゼミナールII ゼミナールII ゼミナールII ゼミナールIV 健康管理学
専	教授	田口 鉄久 (68) < 平成29年4月> 幼児教育者論 保育内容(人間関係) 保育内容(言業) ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 保育内容に解う を発言を決している。 保育性のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	専	教授	田口 鉄久 (69) < 平成29年4月>  幼児教育者論 保育内容(人間関係) 保育内容(言葉) ゼミナールII ゼミナールII ゼミナールIV 保育内容総論 教職・原理 保育指導法	専	教授	田口 鉄久 (70) 《平成29年4月》  幼児教育者論 保育内容(人間関係) 保育内容(言葉) ゼミナールI ゼミナールII ゼミナールIV ゼミナールIV 投育内容総論 教職・興 保育特導法
専	教授	坪井 守 (64) <平成29年4月> 教育と社会(幼稚園) 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 幼稚園教育実習事前事後指導 こどもとことば キャリアデザインⅢ 教職・保育実践演習	専	教授	坪井 守 (64) <平成29年4月> 教育と社会(幼稚園) 基礎ゼミナールI 基礎ゼミナールI 基礎ゼミナールI 基礎ゼミナールI 基礎ゼミナールI 基礎ゼミナールI 基礎ゼミナールI  基礎ゼミナールI  基礎ゼミナールI  数報観教育実習事前事後指導 こどもとことば キャリアデザインII キャリアデザインIV 教職・保育実践演習	専	教授	坪井 守 (65)  <平成29年4月> 教育と社会(幼稚園) 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 幼稚園教育実習事前事後指導 など・ジャー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
専	教授	山路 克文 (65) < <b>平成29年4月&gt;</b> 社会福祉概論 保育実習指導 I (施設) 保育実習 I (施設) 相談援助 地域福祉論 ゼミナール I ゼミナールⅢ ゼミナールⅢ	専	教授	山路 克文 (64) < <b>平成29年4月&gt;</b> 社会福祉概論 保育実習指導 I (施設) 保育実習 I (施設) 相談援助 地域福祉論 ゼミナール I ゼミナール II ゼミナールII ゼミナールII	專	教授	山路 克文 (65) < 平成29年4月> 社会福祉概論 保育実習 I (施設) 保育実習 I (施設) 相談援助 地域福祉論 ゼミナール I ゼミナールⅢ ゼミナールⅢ
毒	准教授	大野 泰子 (62) 《平成29年4月》 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール I 介護等体験(事前事後指導を含む) 学校保健(学校安全を含む) 学校保健演習 養護概説 ゼミナール I ゼミナール I ゼミナール I 菱護実習事前事後指導 ゼミナール II 菱護実習事前事後指導 ゼミナール II  ・ できません。	専	准教授	大野 泰子 (62) 《平成29年4月〉 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール I 介護等体験(事前事後指導を含む) 学校保健(学校安全を含む) 学校保健演習 養護概説 ゼミナール I ゼミナール I ゼミナール I ゼミナール I 菱護実習事前事後指導 ゼミナール II 菱護実習事前事後指導 ゼミナール II ジョウール II ジョール II ジョー	専	准教授	大野 泰子 (63) 《平成29年4月》 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール I 力護等体験(事前事後指導を含む) 学校保健(学校安全を含む) 学校保健演習 養護概説 ゼミナール I ゼミナール I ゼミナール I ゼミナール I

専任・			専任・			専任・		
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
07/31		担当授業科目名	57,11		担当授業科目名	05731		担当授業科目名
冊节	准教授	杉山 佳菜子 (35) < 平成29年4月> こども学概論 教育心理学(幼稚園) ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 家庭・子育で支援論 こどもと保育カウンセリング	専	准教授	杉山 佳菜子 (35) < 平成29年4月> こども学概論 教育心理学(幼稚園) ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールII ゼミナールII でミナールII でミナールII でミナールIV 家庭・子育で支援論 こどもと保育カウンセリング	専	准教授	杉山 佳菜子 (36) < 平成29年4月> こども学概論 教育心理学(幼稚園) ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールII ゼミナールII ・子育で支援論 こどもの理解 こどもと保育カウンセリング  参應学
争		上田 慎二 (48) <平成29年4月> 基礎ゼミナールI 基礎ゼミナールI こども造形の基礎 I こども造形の基礎 I にども造形の基礎 I 保育内容 (表現Ⅱ造形) ゼミナール I 程育表現技術演習 II (造形) 保育表現技術演習 II (こどもの文化) ゼミナール III ビミナール III	専	准教授	上田 慎二 (48) <平成29年4月> 基礎ゼミナールI 基礎ゼミナールI こども造形の基礎 I こども造形の基礎 I こども造形の基礎 I で育内容 (表現Ⅱ造形) ゼミナール I ゼミナール I 保育表現技術演習 II (造形) 保育表現技術演習 II (ごもの文化) ゼミナール III ゼミナール III ゼミナール III ゼミナール III	専	准教授	上田 慎二 (49) <平成29年4月> 基礎ゼミナールI 基礎ゼミナールI こども造形の基礎 I こども造形の基礎 I にども造形の基礎 II 保育内容 (表現Ⅱ造形) ゼミナール I 保育表現技術演習 II (造形) 保育表現技術演習 II (こどもの文化) ゼミナール III
専	准教授	榊原 財津子 (49) < 平成29年4月> < 平成29年4月> < 平成20年3月 (49) < 平成20年3月 (49) < 正どもの運動遊び I こどもの運動遊び I レクリエーション 概論 レクリエーション 活動援助法 レクリエーション 注動援助法 レクリエーション 主	専	准教授	榊原 財津子 (49) <平成29年4月> 保育内容(健康) こどもの運動遊び I こどもの運動遊び I レクリエーション抵論 レクリエーション活動援助法 レクリエーション実習 基礎ゼミナール II 基礎ゼミナール III 基礎ゼミナール III 基礎ゼミナール III 基礎ゼミナール III 基礎ゼミナール III 基礎世ミナール III 基礎世ピミナール III 基礎世ピミナール III 基礎世ピール III 基礎世ピール III 基礎世ピートル III	兼任	講師	榊原 尉津子 (50) 〈平成30年4月〉 こどもの運動遊びI
						*	准教授	専任補充予定  《平成30年10月〉 保育内容(健康)  こどもの運動遊びII レクリエーション概論 レクリエーション活動援助法 レクリエーション実習 基礎ゼミナールI 基礎ゼミナールII 基礎ゼミナールII 基礎ゼミナールII 基礎ゼミナールII
再	講師	森 慶惠 (533) < 平成31年 4 月>  保健科教育法 I 保健科教育法 II 保健科教育法 II 保健科教育法 IV ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール II ゼミナール II ゼミナール IV 教育実習 等前事後指導 (保健)教職実践演習 (保健)	専	講師	森 慶惠 (51) 《平成31年4月》  保健科教育法Ⅱ 保健科教育法Ⅲ 保健科教育法Ⅲ 保健科教育法Ⅳ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ ゼミナールⅣ 教育実習事前事後指導(保健) 教職実践演習(保健)	専	講師	森 慶惠 (52) 《平成31年4月》 保健科教育法I 保健科教育法II 保健科教育法II 保健科教育法IV ゼミナールII ゼミナールII ゼミナールII ゼミナールII ゼミナールII ゼミナールIV 教育実習 事前事後指導 (保健)教育実習事前事後指導 (保健)教職実践演習 (保健)

専任・ 兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
の別	492.7	担当授業科目名
		中山真
専	助教	(32) < 平成29年4月> (保育の心理学 I 発達心理学 3 教育心理学 I 基礎ゼミナールII 基礎ゼミナールII 基で・サール I ゼミナール I ゼミナール I ゼミナール I ゼミナール I ボールル I 精神保健
		小川(真由子)
専	助教	(40) 《平成29年4月》 基礎看護学 著校看護学実習 学校看護学実習 基礎ゼミナールIII 基礎臨床看護実習 地域臨床看護実習 地域は下看護実習 臨床看護実習 ・ レール I ゼミナール I
専	助教	大久保 友加里 (30) <平成29年4月> こどもと音楽Ⅱ こどもと音楽Ⅱ こどもと音楽Ⅱ キャリアデザインⅠ 児童文化と表現 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 保育実習指専Ⅱ又はⅢ(保育所又は施設)
<b>本</b> 扣	<b>松</b> +巫	アントニオ ジャンピエール (54)
兼担	教授	<b>&lt;平成29年4月&gt;</b> 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーションⅡ
兼担	教授	松倉 信幸 (58) <平成29年4月> 英語コミュニケーション I
兼担	教授	周 国龍 (62) <平成30年4月> 中国語 I 中国語 II
兼担	教授	齋藤 千恵 (53) <平成29年4月> <sub>文化人類学</sub>
兼担	教授	中野 潤三 (63) 〈平成30年4月〉 国際関係論
兼担	教授	細井 和彦 (53) 〈平成30年4月〉 歴史学
兼担	教授	富田 寿代 (61) 〈平成30年4月〉 環境学

_		
専任・ 兼担・		氏 名
兼任	職名	(年 齢) <就任(予定)年月>
の別	403.70	
		担当授業科目名
		中山 真 (32)
		<平成29年4月>
		保育の心理学 I 発達心理学
		教育心理学 (養護・保健) 保育の心理学Ⅱ
専	助教	基礎ゼミナールⅢ
		基礎ゼミナールIV 臨床心理学
		ゼミナール I ゼミナールⅡ
		ゼミナールⅢ
		ゼミナールIV 精神保健
		小川 真由子
		(40) <平成29年4月>
		基礎看護学 基礎看護学実習
		学校看護学実習
_	D+ +/-	基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ
専	助教	基礎臨床看護実習 地域臨床看護実習
		臨床看護実習事前事後指導
		ゼミナール I ゼミナールⅡ
		ゼミナールⅢ
		ゼミナールIV
		大久保 友加里 (30)
		<平成29年4月>
		こどもと音楽 I こどもと音楽 II
専	助教	キャリアデザイン I 児童文化と表現
7	10130	基礎ゼミナール I
		基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ
		基礎ゼミナールIV 保育実習指導Ⅱ又はⅢ(保育所又は施設)
		保育実習Ⅱ又はⅢ(保育所又は施設)
		アントニオ ジャンピエール (54)
兼担	教授	<b>&lt;平成29年4月&gt;</b> 英語コミュニケーション I
		英語コミュニケーションⅡ
兼担	教授	松倉 信幸 (58)
<b>本担</b>	<b>拟</b> 按	<b>&lt;平成29年4月&gt;</b> 英語コミュニケーション I
		周 国龍
兼担	教授	(61) <平成30年4月>
		中国語 I 中国語 II
		齋藤 千恵
兼担	教授	(53) <平成29年4月>
		文化人類学
兼担	教授	中野 潤三 (62)
N.IE	大以	<平成30年4月> 国際関係論
		細井 和彦
兼担	教授	(52) <平成30年4月>
<u> </u>		歴史学 富田 寿代
兼担	教授	(60)
-115 3	10.10	マース (マース (マース (マース (マース (マース (マース (マース (

専任・		- 5
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		中山 真 (33)
専	准教授	< 平成29年4月> 保育の心理学 I 発達心理学 教育心理学 (養護・保健) 保育の心理学 II 基礎ゼミナールII 基礎ゼミナールI  世ミナール I ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール II ゼミナール II ボミナール II
		小川 真由子 (41)
専	助教	
		大久保 友加里 (31)
専	助教	< 平成29年4月> こどもと音楽 I こどもと音楽 I こどもと音楽 I キャリアデザイン I 児童文化と表現 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナールI 基礎ゼミナールIV 保育実習情楽 I 又はⅢ(保育所又は施設) 保育実習 I 又はⅢ(保育所又は施設)
兼担	教授	アントニオ ジャンピュール (55) <平成29年4月> 英語コミュニケーション I
兼担	教授	英語コミュニケーションII       松倉 信幸       (59)       <平成29年4月>
兼担	教授	英語コミュニケーション I 周 国龍 (62) <平成30年4月> 中国語 I 中国語 II
兼担		文化人類学
兼担	教授	中野 潤三 (63) 〈平成30年4月〉 国際関係論
兼担	教授	細井 和彦 (53) 〈平成30年4月〉 歴史学
兼担	教授	富田 寿代 (61) 〈平成30年4月〉 環境学

専任・		1	亩红.			亩红.		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	仲(江口)律子 (49)       <平成29年4月>       心理学 ボランティア活動 教育相談の理論と方法	兼担	教授	仲(江口)律子       (49)       <平成29年4月>       心理学       ボランティア活動 教育相談の理論と方法			
兼担	教授	<b>今光 俊介</b> (48) <b>&lt;平成29年4月&gt;</b> マーケティング論 経営学総論	兼担	教授	今光 俊介 (48) <平成29年4月> マーケティング論 経営学総論	兼担	教授	今光 俊介 (49) <平成29年4月> マーケティング論 経営学総論
兼担	准教授	田中 利佳 (55) <b>&lt;平成29年4月&gt;</b> スポーツと健康 I (実技)	兼担	准教授	田中 利佳 (55) <b>&lt;平成29年4月&gt;</b> スポーツと健康I (実技)	兼担	教授	田中 利佳 (56) <b>&lt;平成29年4月&gt;</b> スポーツと健康 I (実技)
兼担	講師	プライアン ヴェーAス マホニー (43) <平成30年4月> 英語コミュニケーションIII	兼担	講師	プライアン ジェームス マポニー (42) <平成30年4月> 英語コミュニケーションIII	兼担	講師	プライアン ヴェーAス マホニー (43) <平成30年4月> 英語コミュニケーションIII
兼任	教授	高井 和男 (59) <平成30年4月> スポーツと健康I (講義)	兼任	教授	高井 和男 (58) <平成30年4月> スポーツと健康I (講義)			
兼任	准教授	長澤貴 (49) 《平成29年4月》 教育原理(炎権・保管) 教育原理(養護・保健) 人権論 教職実践演習(養護) 教育方法と技術(後護・保健) 教育方法と技術(後護・保健)	兼任	准教授	長澤 貴 (49) 《平成29年4月》 教育原理(幼稚園・保育) 教育原理(幼稚園・保育) 教育原理(養護・保健) 人権論 教職実践演習(養護) 教職実践演習(保健) 教育方法と技術(養護・保健) 教育方法と技術(幼稚園)	兼任	教授	長澤 貴(50) <平成29年4月> 教育原理(幼稚園・保育) 教育原理(美護・保健) 人権論 教職実践演習(養護) 教前方法と技術(養護・保健) 教育方法と技術(銭種)
兼任	准教授	櫻井 秀樹 (46) <平成29年4月>	兼任	准教授	櫻井 秀樹 (46) <平成29年4月>	兼任	准教授	櫻井 秀樹 (47) <平成29年4月> 生物学 解剖学 学校環境衛生実習 微生物学及び免疫学
兼任	准教授	永石 喜代子 (70) 〈平成32年4月〉 精神看護学	兼任	准教授	永石 喜代子 (67) 〈平成32年4月〉 精神看護学	兼任	准教授	永石 喜代子 (68)
兼任	准教授	竹中 浩 (70) 〈平成30年4月〉 幼児英語指導法	兼任	准教授	竹中 浩 (69)			
						兼担	准教授	天野 剛至 (48) 〈平成30年4月〉 幼児英語指導法
兼任	講師	中谷 惠子 (62) <平成29年4月> 多文化理解	兼任	講師	中谷 惠子 (62) <平成29年4月> 多文化理解	兼任	講師	中谷 惠子 (63) <平成29年4月> 多文化理解
兼任	講師	木村 有里 (40) <平成29年4月> こころの癒しと音楽 科学と芸術の間(音楽史)	兼任	講師	木村 有里 (40) <平成29年4月> こころの癒しと音楽 科学と芸術の間(音楽史)	兼任	講師	<ul><li>辻 有里 (41) &lt;平成29年4月&gt; こころの癒しと音楽 科学と芸術の間(音楽史)</li></ul>
兼任	講師	陶山 宗幸 (57) <平成29年4月> 日本国憲法	兼任	講師	陶山 宗幸 (58) <平成29年4月> 日本国憲法	兼任	講師	陶山 宗幸 (59) <平成29年4月> 日本国憲法
兼任	講師	小島 佳子 (66) <平成30年4月> 乳児の保育 障がい児の支援 こどもの保健演習	兼任	講師	小島 佳子 (65) <平成30年4月> 乳児の保育 障がい児の支援 こどもの保健演習	兼任	講師	小島 佳子 (66) <平成30年4月> 乳児の保育 障がい児の支援 こどもの保健演習
<b> </b>	l	強力 さとみ <sup>(63)</sup>			強力 さとみ (61)	1		強力 さとみ (62)

また		ı	また		1	また		1
専担・兼任・	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
の別		 担当授業科目名	の別		 担当授業科目名	の別		 担当授業科目名
兼任	講師	<平成31年4月>	兼任	講師	<平成31年4月>	兼任	講師	〈平成31年4月〉
		ヘルスカウンセリング <b>杉本 陽子</b> (67)			ヘルスカウンセリング <b>杉本 陽子</b> (66)			ヘルスカウンセリング <b>杉本 陽子</b> (67)
兼任	講師	<b>&lt;平成30年4月&gt;</b> 小児看護学(小児保健を含む)	兼任	講師	<b>&lt;平成30年4月&gt;</b> 小児看護学(小児保健を含む)	兼任	講師	<b>&lt;平成30年4月&gt;</b> 小児看護学(小児保健を含む)
兼任	講師	飯田 幸雄 (60) 〈平成30年4月〉 特別支援教育概論	兼任	講師	飯田 幸雄 (59) 〈平成30年4月〉 特別支援教育概論	兼任	講師	飯田 幸雄 (60) 〈平成30年4月〉 特別支援教育概論
兼任	講師	林 浩司 (43) 〈平成31年4月〉 <sup>薬理概論</sup>	兼任	講師	林 浩司 (41) 〈平成31年4月〉 <sup>薬理概論</sup>	兼任	講師	林 浩司 (42) <平成31年4月> 薬理概論
兼任	講師	榊原 博美 (56) 〈平成30年4月〉 道徳教育の理論と方法	兼任	講師	榊原 博美 (55) 〈平成30年4月〉 道徳教育の理論と方法	兼任	講師	榊原 博美 (56) 〈平成30年4月〉 道徳教育の理論と方法
兼任	講師	須永 (66) 〈平成31年4月〉 教育·保育課程論	兼任	講師	須永 (65) 〈平成31年4月〉 教育·保育課程論	兼任	講師	須永 (66) (平成31年4月> 教育・保育課程論
兼任	講師	小孫 康平     (65)     <平成30年4月>     教育方法と技術(養護・保健)     教育方法と技術(幼稚園)	兼任	講師	小孫 康平     (64)     <平成30年4月>     教育方法と技術(養護・保健)     教育方法と技術(幼稚園)	兼任	講師	<ul> <li>小孫 康平         <ul> <li>(65)</li> <li>&lt;平成30年4月&gt;</li> </ul> </li> <li>教育方法と技術(養護・保健)</li> <li>教育方法と技術(幼稚園)</li> </ul>
兼任	講師	毛利 隆宏 (65) 〈平成30年4月〉 教育課程論	兼任	講師	毛利 隆宏 (64) 〈平成30年4月〉 教育課程論	兼任	講師	毛利 隆宏 (65) 〈平成30年4月〉 教育課程論
兼任	講師	大金 朱音 (54) 〈平成32年4月〉 スポーツ外傷・障害論(教急処置を含む)	兼任	講師	大金 朱音 (51) 〈平成32年4月〉 スポーツ外傷・障害論(教急処置を含む)	兼任	講師	大金 朱音 (52) 〈平成32年4月〉 スポーツ外傷・障害論(教急処置を含む)
兼任	講師	福永 峰子 (57) 〈平成29年4月〉 自然科学基礎	兼任	講師	福永 峰子 (58) 〈平成29年4月〉 自然科学基礎	兼任	講師	福永 峰子 (59) 〈平成29年4月〉 自然科学基礎
兼任	講師	神谷 勇毅 (37) <平成29年4月> 情報処理I 情報処理II 情報処理論 生活統計 数理工学	兼任	講師	神谷 勇毅 (37) <平成29年4月> 情報処理 II 情報処理 II 情報処理論 生活統計 数理工学	兼任	講師	神谷 勇毅 (38) 《平成29年4月》 情報処理II 情報処理II 情報処理論 生活統計 数理工学
兼任	講師	大西 範和 (59) 〈平成31年4月〉	兼任	講師	大西 範和 (58) 〈平成31年4月〉 <sup>生理学</sup>	兼任	講師	大西 範和 (59) 〈平成31年4月〉 <sup>生理学</sup>
兼任	講師	清水 京子 (64) 〈平成30年4月〉 保育内容(環境)	兼任	講師	清水 京子 (64) 〈平成30年4月〉 保育内容(環境)	兼任	講師	清水 京子 (65) 〈平成30年4月〉 保育内容(環境)
		専任補充可						
		こどもと家庭の福祉 こどもと社会のソーシャルワーク I こどもと社会のソーシャルワーク II 保育実習 指導 I (保育所) 保育実習 (保育所) 保育内の (表現 I 音楽) 保育表現技術演習 I (音楽) 保育実習指導II 又はIII (保育所又は施設) 保育実習II 又はIII (保育所又は施設)						
		兼任可						
		保育実習指導 I (保育所) 保育実習 I (保育所)			田島 孝次郎			田島 孝次郎
i I		l l	ı		(64)	I		(65)

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任 兼担 兼任 の別	. 融名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
			ij	教授	《平成30年4月》 保育実習指導 I(保育所) 保育実習(保育所) 保育内容(表現 I 音楽) 保育表現技術演習 I(音楽)	専	教授	< 平成30年4月> 《平成30年4月> 保育実習指導Ⅰ (保育所) 保育実習 (保育所) 保育内容 (表現Ⅰ音楽) 保育表現技術演習Ⅰ (音楽)
					兼任可 保育実習指導I又は皿(保育所又は施設) 保育実習II又は皿(保育所又は施設)			
							講師	<b>泉 正幸</b> (70) < <b>平成30年4月&gt;</b> こどもと家庭の福祉 こどもと社会のソーシャルワーク I こどもと社会のソーシャルワーク I
						兼任	准教授	石川 拓次 (42) <平成30年4月> 保育実習指導エヌはエ (保育所又は施設) 保育実習 エヌはエ (保育所又は施設) スポーツと健康Ⅱ (講義)
						兼任	講師	大日方 真史 (38) 〈平成30年4月〉 教育と社会(幼稚園)
						兼任	講師	兼任補充 <平成31年4月> 特別活動の理論と方法

- (注)・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
  - 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
  - ・ 専任、兼担、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、 平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

#### (3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当 <sup>-</sup>	予定科目	後任補充	状況		就任辞退(未就任)の理由					
												=± 1/2 ±> 1				
														, L		
	合計 (D)							後任補充状況の集計(E)								
	京	た任 る	を辞:	退した教員数	担当科目数の合計	† (a) +	(b) + (c)	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数				├数 (c	)			
					必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			ı	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	
	0 \		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目		
					計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
  - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)一②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合, 赤字にて記入するとともに, 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
  - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

### (3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
			必修	鈴鹿学	1)	
			必修	基礎ゼミナール I	1	
			必修	基礎ゼミナールⅡ	1	
			必修	基礎ゼミナールⅢ	1	
			必修	基礎ゼミナールⅣ	1	
			必修	ゼミナール I	1	
1	<b>₩</b> ₩	藤岡恭子	必修	ゼミナールⅡ	1	- H30.3.31付け、本人からの願いにより辞任 (30)
'	教授	膝间 亦丁	必修	ゼミナールⅢ	1	- 130.3.311111、本人からの願いにより辞仕(30)
			必修	ゼミナールⅣ	1	1
			選択	教育と社会(養護・保健)	1	]
			選択	特別活動の理論と方法	3	]
			選択	生徒指導論(進路指導を含む)(保健)	1	]
			選択	生徒指導論(養護)	1	1
			選択	教育と社会(幼稚園)	2	1
			選択	保育内容(健康)	3	
			必修	こどもの運動遊び I	2	]
				こどもの運動遊びⅡ	3	]
			選択		]	
			選択	レクリエーション活動援助法	3	1
2	准教授	榊原 尉津子	選択	レクリエーション実習	3	H30.3.31付け、本人からの願いにより辞任(30)
			必修	基礎ゼミナール I	3	1
			必修	基礎ゼミナール I	3	1
			必修	基礎ゼミナール I	3	]
			必修	基礎ゼミナール I	3	1
			必修	鈴鹿学	1	1
		合計	(F)			後任補充状況の集計(G)
	辞任し	した教員数	担当科目数の合詞	† (a) + (b) + (c)	①の合計数(a)	②の合計数 (b) ③の合計数 (c)
	·	-	必修	15 科目	必修 10	科目 必修 1 科目 必修 4 科目
	2		選択	10 科目	選択 3	科目 選択 1 科目 選択 6 科目
	2		自由	0 科目	自由 0	科目 自由 0 科目 自由 0 科目
			計	25 科目	計 13	科目 計 2 科目 計 10 科目

- (注) · 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
  - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

    - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

### (3) -③ 上記(3) -①・ (3) -② の合計

	合計(D	) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教	員数	担当科目数の合語	計 (a) +	(b) + (c)	①の合計	十数(a)	②の合計	十数(b)	③の合計数 (c)			
		必修	15	科目	必修	10 科目	必修	1 科目	必修	4 科目		
		選択	10	科目	選択	3 科目	選択	1 科目	選択	6 科目		
2	人	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	25	科目	計	13 科目	計	2 科目	計	10 科目		

# (3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	状況			辞任	E等の	理由		
			í	計						後任補充物	犬況の負	<b>集計</b>			
	趏	揺し	<b>ンた教員数</b>	担当科目数の合言	† (a) +	(b) + (c)	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合				③の合計	合計数(c)			
				必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		•		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		0	, ,	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

### (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

1名の退職者については、他学部の同専門分野教員を所属変更し、後任教員として教員資格審査を受けた。一部の科目(2科目)で「不 可」の判定となったが、「兼任補充可」に伴い、兼任教員を採用した。(30) 1名の退職者については、教育に支障が出ないよう、平成30年10月付けで専任教員として採用予定である。(30) 学生への周知方法については、オリエンテーションを通じて説明を行っている。(30)

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を 記入してください。

# 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	等	履行状況		未履行事項について の実施計画
設 置 時 (28年8月)	「理論と実践の一体的 理解」を具体的に実現 する方法については、 教員間で十分な共通理 解を図るとともに、学 生にも十分伝わるよう 努めること。	留意事項	シラバス作成や授業準備の会議 意見交換で共通理解を図り FD活動でも徹底。教職教育セ ンターでも情報共有。学生はガ イダンスや授業で趣旨を十分説 明し理解を得ている。 (29)	履行済	
設置時	「Ⅲザ授キ目のをバス対策をといいで向とのといいで向とのでいるといいで向とのでいるといいで向とのでいるといいで向とのでいるとのです。とれては上し高シ職産座座をしいでのとのでのでのとのでのでのとのでのでのとのでのでのとのでのでのとのでのでのとのででのとのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのででので	留意事項	「キャリアデザインⅢ」及び「キャリアデザインⅢ」の担当者が授業内容を再考した。就職支援対策講座のごとく見なされる内容ではなく、自らのキャリア形成力を向上させる内容に改めた。(29)	履行済	
設 置 時 (28年8月)	教員の相対のでは、このでは、このでは、「は、このでは、、。	留意事項	専れ表よ楽のま定導設は2をあて科を会Iソびの降年申 「ル社Iの名が格成配別の目演育と関係のは、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して	履行済	

設 置 時(28年8月)	完成年度前に、定年的に、定年的に、、定年のの任何のの任何のは、では、定年ののでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	留意事項	を超える専任教員と若手教員が教育研究の連携を図り、支障なく講義を履行している。また、1名の職位変更に伴う教員資格に准教受け、平成30年度に准教授への昇任が決定している。(30)	未履行	平成27年度末に立てた5年間のな27年度末に立てた5年間のおりまれてである。 の中期の変更にできる。 の中期ので連続性を を選続である。 が表別の連続性を を選続である。 が表別のでは、 では28年度からの中期事業 計で、についるでは、 では、このいる。 では、このい。 では、このいる。 では、このい。 では、このいる。 では、このいる。 では、このいる。 では、このいる。 では、このいる。 では、このいる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、
設置計画履行状況調查。(29年2月)	こども教育の0.0.3に対するでは、このでは、では、このでは、では、このでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、い	改善意見	入て29内う教会の法べ動を生のえ平べ微学つたこ年あ項実まれいいのと(学、年容た員を魅とン内更、先る成受増定な。の度りををたたてて実がのを、体学象で積、報発る者にが度おう足こを従振して善定すさ向さいのて発部。すしどに受等力度者り改な平活改なてし会31図。のよい平教も行説学る、の情験学をに数、善か成動善る付にに年るい平教も行説学る、の情験学をに数、善か成動善る付にに年るい平教も行説学る、の情験学をに数、善か成動善る付にに年るが、正教も行説学る、の情験学をに数、善か成動善る付にに年るが、正教も行説学る、の情験学をに数、善か成動善る付にに年るが、正教も行説学る、の情験学をに数、善か成動善る付にに年るが、正教も行説学る、の情験学をに数、善か成動善る付にに年るの、のて発部。すしばに受等力度者り改な平活改なてし会31図。ので、記述とは、記述といいでは、記述といいでは、正常では、正常では、正常である。	未履行	

- (注)・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(<u>学校法人の</u> <u>寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等 について、具体的に記入し、<u>報告年度を( )書き</u>で付記してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、<u>当該大学に付された意見を全て記入</u>するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

# 7 その他全般的事項

# くこども教育学部 こども教育学科>

# (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし
	<b>以 コ な じ</b>

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD·SD活動含む)

#### ① 実施体制

- a 委員会の設置状況
  - ・鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部に自己点検・評価委員会を設置し、下部組織として、FD・SD部会を を設置している。
- b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
  - ・FD・SD部会は、必要に応じて随時開催(平成29年度は10回開催)している。
  - ・構成員は、教員5名および事務職員2名で構成している。
- c 委員会の審議事項等
  - FD・SD活動の基本方針に関する事項
  - FD・SD研修会に関する事項
  - 教育活動の組織的改善に関する事項
  - ・事務機能の組織的改善に関する事項
  - 学生の授業評価の実施に関する事項
  - ・授業方法の改善に関する事項
  - 教職員の研修及び資格取得に関する事項
- ② 実施状況
  - a 実施内容
    - ·FD·SD研修会(月1回程度)
    - ・学生による授業評価アンケート
    - ・授業評価アンケートの集計、分析および学生へのフィードバック
    - ・教員相互による授業参観及び事後検討会
  - b 実施方法
    - ・授業評価アンケート 年2回実施(前期と後期)
    - ・FD・SD研修会 毎月1回定例教授会前の30分から60分程度
    - ・授業参観 年2回実施(参観後、事後検討会を開催)
  - c 開催状況(教員の参加状況含む)
    - ·FD·SD研修会 FD研修会9回開催
      - FD研修会 年9回開催 延べ336名の教職員が参加
      - SD研修会 年11回開催 延べ398名の教職員が参加
    - 授業参観

前期授業参観および事後検討会 32名の教職員が参加 後期授業参観および事後検討会 25名の教職員が参加

・その他研修会

三重県私立大学高専協会合同 F D・S D 研修会 35名の教職員が参加

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
  - ・学長、副学長、学部長の役職者等で構成する「企画・運営部会議」において、FD・SD研修会の 実施内容を報告している。その結果を踏まえ、活動の振り返りと課題を認識し、改善事項について は、学長からの指示のもと、学部、学科、専攻単位の教員組織内で改善に向け取り組んでいる。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
  - a 実施の有無及び実施時期
    - ・授業評価アンケートを実施している。
    - ・実施時期は、前期は7月、後期は1月に行っている。
  - b 教員や学生への公開状況. 方法等
    - ・教員には、集計後のアンケート結果に基づき、コメントの提出を義務付けている。
    - ・学生には、アンケート集計結果と教員からのコメントをまとめ、自由に閲覧できるよう備付している。
- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- (3) 自己点検・評価等に関する事項
- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

こども教育学部は、多文化共生を理解し、人間愛に基づく広い視野を持った人、自ら獲得した教育研究の成果を地域社 会に還元し、地域社会の要請に応えられる人、社会的責任と役割に自覚し、他人と協働できる人という人材の養成を目的 として設置。

こども教育学科は、教育・保育の専門家として、専門的な知識と実践的な技術を身に付け、教育者・保育者としての使命と責任感を持ち、地域貢献や社会貢献に資する人材の養成を教育理念におく。次代を担うこどもたちの育成、発達支援をする人物としてふさわしい養護教諭、幼稚園教諭・保育士等の養成を目的とし、幼児教育学専攻では、教育職員免許法・児童福祉法及び関連法規に則った、正しい知識と技術を持つとともに、現在の子育て環境の抱える課題に適切に対応できる専門性と保護者支援、子育て支援に対応できる幼稚園教諭・保育士等の養成する。また、養護教育学専攻では、教育職員免許法・児童福祉法及び関連法規に則った、正しい知識と技術を持つとともに、現在の教育現場の課題に適切に対応できる専門性を持ち、学内外と連携・協働できる養護教諭等の養成する。

新入生を迎えたこの1年間は、基礎教育科目を中心とした学修と卒業までの4年間の学び方について、基礎ゼミナール 等を通じ、学生と向き合ってきた。今後は、専攻ごとに必要な専門教育科目の修得に向け、教育目的に沿った教育を遂行 する。

- ② 自己点検・評価報告書
  - a 公表 (予定) 時期
    - ·平成30年6月30日 公表(予定)
  - b 公表方法
    - ・大学ホームページ上に公開 https://www.suzuka-iu.ac.jp/about/assessment.html
- ③ 認証評価を受ける計画
  - ・本学は、平成28 (2016) 年度に日本高等教育評価機構による認証評価を受審し、大学評価の基準に「適合」 しているとの認定を受けた。(認定期間は、7年間)
  - ・今後の計画は、本学の自己点検・評価を実施するとともに、認証評価を受審する年度を検討する。
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

# (4) 情報公表に関する事項

0 1	设置計画履行状況報告書			
а	ホームページに公表(予定)の有無	(有)・	無	)
b	公表(予定)有の場合の公表(予定)時期	( 平成30年6月30日	)	

- (注) ・ 「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
  - ・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。